

財務の概要

(1) 資金収支計算

資金収支計算について、予算と決算の対比による主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	35,356	37,309	△ 1,953
手 数 料 収 入	2,289	3,349	△ 1,060
寄 付 金 収 入	416	485	△ 69
補 助 金 収 入	3,373	4,243	△ 870
資 産 運 用 収 入	462	804	△ 342
資 産 売 却 収 入	13,290	22,291	△ 9,001
事 業 収 入	373	362	11
雑 収 入	510	740	△ 230
借 入 金 等 収 入	5,001	3,501	1,500
前 受 金 収 入	7,686	6,592	1,093
そ の 他 の 収 入	1,665	2,072	△ 407
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 10,806	△ 13,290	2,484
当 年 度 資 金 収 入 合 計	59,614	68,456	△ 8,842
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	11,271	11,271	
収 入 の 部 合 計	70,885	79,727	△ 8,842

大学部の2007年度新入生が見込みを上回りました。

大学部の志願者数が見込みを上回りました。

国庫および地方公共団体からの補助金の収入が見込みを上回りました。

短期の有価証券を売却し資金化しました。

建設事業の執行状況を勘案し、借入金金を減額しました。

学費徴収方法変更により見込みを下回りました。

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	23,220	22,403	816
教 育 研 究 経 費 支 出	10,536	10,245	290
管 理 経 費 支 出	2,068	2,068	0
借 入 金 等 利 息 支 出	137	106	30
借 入 金 等 返 済 支 出	4,900	4,900	0
施 設 関 係 支 出	8,510	6,418	2,092
設 備 関 係 支 出	770	770	0
資 産 運 用 支 出	9,591	9,769	△ 178
そ の 他 の 支 出	1,963	2,088	△ 125
〔 予 備 費 〕	(210) 790	—	790
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 834	△ 859	25
当 年 度 資 金 支 出 合 計	61,651	57,911	3,741
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,234	21,817	△ 12,583
支 出 の 部 合 計	70,885	79,727	△ 8,842

年金への繰入が当初計画を下回りました。

光熱水費が減となったことなどにより、予算を下回りました。

小金井キャンパス再開発建設工事の着工遅延による未執行などにより、見込みを下回りました。

当 年 度 資 金 収 支 差 額	△ 2,037	10,546	△ 12,583
-------------------	---------	--------	----------

(注1) 上記の表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。なお、以下の表についても同様である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

資金収支計算の中の経常的収支計算

(単位:百万円)

		予 算	構成率(%)	決 算	構成率(%)	差 異
(A) 経 常 的 収 入	総額	35,356		37,309		△ 1,953
	(△) 教育充実費	△ 7,415		△ 7,791		376
	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	27,941	79.5%	29,517	75.4%	△ 1,576
	手 数 料 収 入	2,289	6.5%	3,349	8.6%	△ 1,060
	総額	416		485		△ 69
	(△) 特定資金のための寄付金	△ 112		△ 290		178
	寄 付 金 収 入	304	0.9%	195	0.5%	109
	総額	3,373		4,243		△ 870
	(△) 研究設備補助金他	△ 107		△ 82		△ 24
	補 助 金 収 入	3,266	9.3%	4,161	10.6%	△ 894
	資 産 運 用 収 入	462	1.3%	804	2.1%	△ 342
(B) 経 常 的 支 出	事 業 収 入	373	1.1%	362	0.9%	11
	雑 収 入	510	1.5%	740	1.9%	△ 230
	計	35,145	100.0%	39,128	100.0%	△ 3,982
	総額	23,220		22,403		816
	(△) 退職金支出	△ 735		△ 1,104		370
	退 職 資 産 へ の 繰 入 支 出	1,639		1,639		△ 0
	人 件 費 支 出	24,124	68.6%	22,938	58.6%	1,186
	総額	10,536		10,245		290
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 527		△ 787		261
	教 育 研 究 経 費 支 出	10,009	28.5%	9,458	24.2%	551
	総額	2,068		2,068		0
(C)	(△) 建設事業に係わる経費	△ 372		△ 438		66
	管 理 経 費 支 出	1,696	4.8%	1,629	4.2%	66
	借 入 金 等 利 息 支 出	137	0.4%	106	0.3%	30
	計	35,966	102.3%	34,132	87.2%	1,834
	(A - B) 経 常 的 収 支 差 額	△ 821	△ 2.3%	4,995	12.8%	△ 5,816

(注1) 経常的支出の各構成率は、経常的収入合計に対する比率である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

「経常的収支計算」は、本学が独自に資金収支計算のうちから、施設設備に係わる収支などを除き、経常的収支に関する部分を抽出して作成したものです。

学生生徒等納付金収入および手数料収入が見込みを上回ったこと、人件費支出および教育研究経費支出が見込みを下回ったことなどにより、経常的収支差額は予算を5,816百万円上回る収入超過となりました。また、経常的収支差額比率（経常的収支差額の経常的収入合計に対する比率）は12.8%と、予算を15.1ポイント上回りました。

(2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(单位:百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	35,356	37,309	△ 1,953
手 数 料	2,289	3,349	△ 1,060
寄 付 金	416	1,041	△ 625
補 助 金	3,373	4,243	△ 870
資 産 運 用 収 入	462	804	△ 343
資 産 売 却 差 額	12,758	12,968	△ 211
事 業 収 入	373	362	11
雑 収 入	510	741	△ 230
帰 属 収 入 合 計	55,536	60,817	△ 5,280
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 5,780	△ 6,304	525
消 費 収 入 の 部 合 計	49,756	54,512	△ 4,756

(消費支出の部)

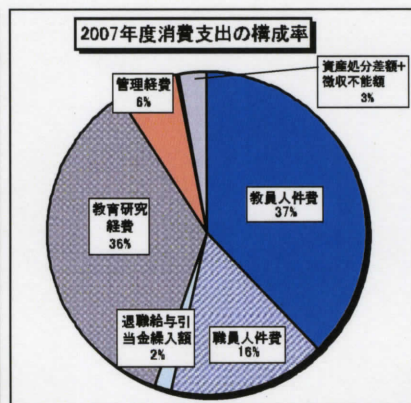
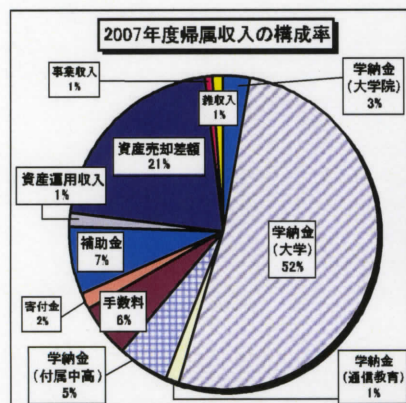
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	22,556	21,904	652
教 育 研 究 経 費	14,400	14,104	296
（ 内 減 価 償 却 額 ）	（ 3,864 ）	（ 3,858 ）	（ 6 ）
管 理 経 費	2,192	2,365	△ 173
（ 内 減 価 償 却 額 ）	（ 283 ）	（ 281 ）	（ 1 ）
借 入 金 等 利 息	137	106	30
資 産 処 分 差 額	1,010	1,146	△ 136
徴 収 不 能 額	0	0	△ 0
消 費 支 出 の 部 合 計	40,295	39,626	668

歸 屬 收 支 差 額	15,242	21,190	△ 5,949
歸 屬 收 支 差 額 比 率	27.4%	34.8%	—
當 年 度 消 費 收 入 超 過 額	9,462	14,886	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	33,353	33,353	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	23,891	18,467	

(注1)

$$\text{歸屬收支差額} = \text{歸屬收入} - \text{消費支出}$$

(注2)

$$\text{歸屬収支差額比率} = \text{歸屬収支差額} \div \text{歸屬收入} \times 100$$


(3) 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。

貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	160,352	151,172	9,180
	有形固定資産	123,071	121,140	1,931
	その他の固定資産	37,281	30,032	7,249
	流動資産	28,087	25,261	2,826
	合 計	188,439	176,433	12,006

(負債の部、基本金の部、消費収支差額の部)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	14,537	16,061	△ 1,524
	流動負債	12,510	20,170	△ 7,660
	計	27,047	36,231	△ 9,184
基本金		179,859	173,555	6,304
消費収支差額		△ 18,467	△ 33,353	14,886
合 計		188,439	176,433	12,006

(参考)

正 味 資 産	161,392	140,202	21,190
---------	---------	---------	--------

※ 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

減価償却額の累計額	58,418	56,370	2,048
基本金未組入額	11,047	12,949	△ 1,902

[貸借対照表注記事項] (抜粋)

(1) 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

貸借対照表計上額	時価	差額
35,824	34,956	△ 867

(2) 学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社

a. 株式会社エイチ・ユー

<事業内容>

・書籍・文具・事務機器等の販売 ・建物内外の清掃・保守管理・警備 ・印刷業 ・一般及び特定労働者派遣事業 ・有料職業紹介業 ・一般土木建築工事業 など

b. 法政ナレッジ・クリエイト株式会社

<事業内容>

・各種国家試験、各種資格取得のための講習会の企画、開催及び運営
・社会人及び学生・生徒に対するビジネス、教育、心理、外国語、情報処理、一般教養及び趣味に関する教養講座の企画、開催及び運営
・講演会、各種セミナー等による情報提供業務、各種研修の受託
・各種イベントの企画及び運営 など

(3) 本学の学内年金決算における年金財政貸借対照表

年金財政貸借対照表

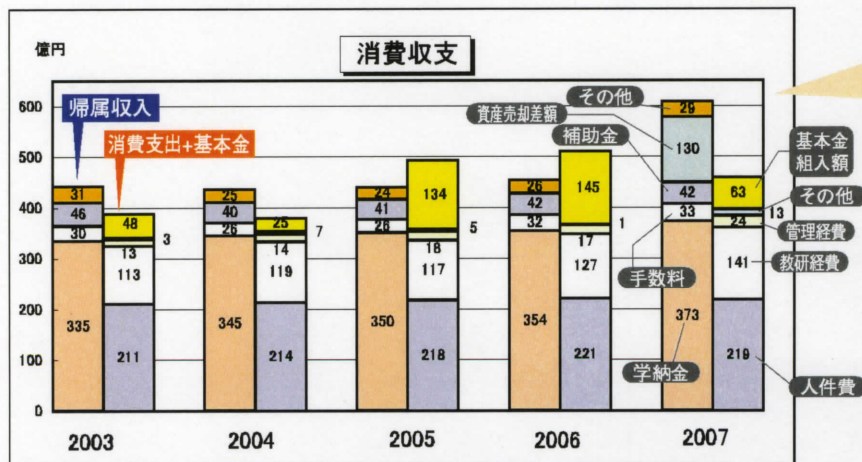
2007年7月31日

(単位：百万円)

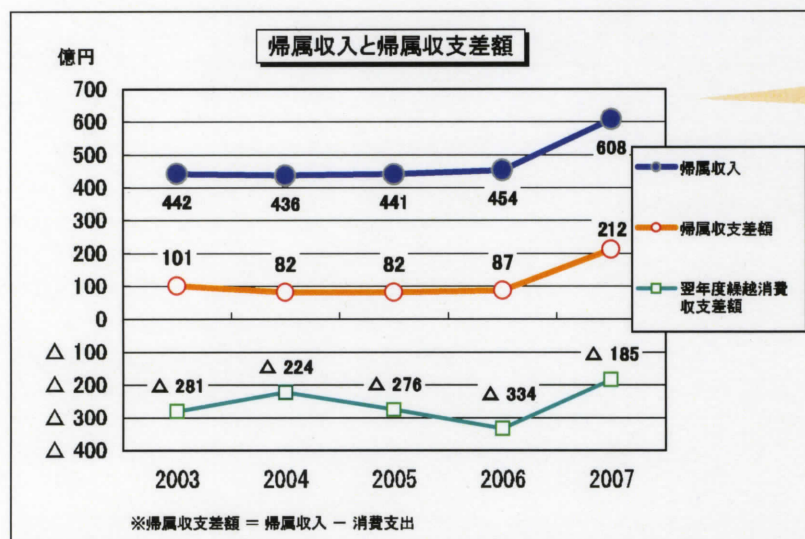
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
年金信託受益権	18,280	支払備金	0
未収掛金	0	責任準備金	27,108
過去勤務債務等の現在額	8,828		
合 計	27,108	合 計	27,108

過去5年間の推移

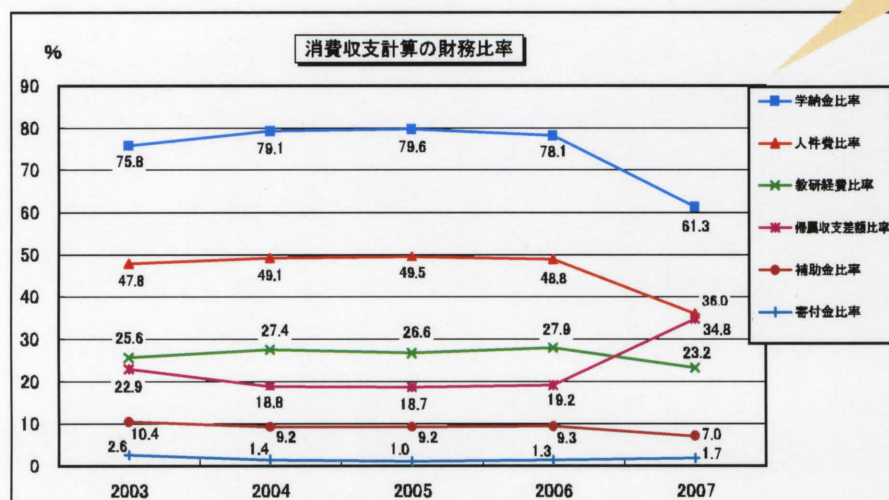
消費収支の推移



大学部の2007年度新入生数の増、志願者数の増および中学高等学校の旧校地売却などにより帰属収入が増加しました。また、中学高等学校の新校舎建設工事相当額、奨学基金繰入額などを基本金に組み入れました。



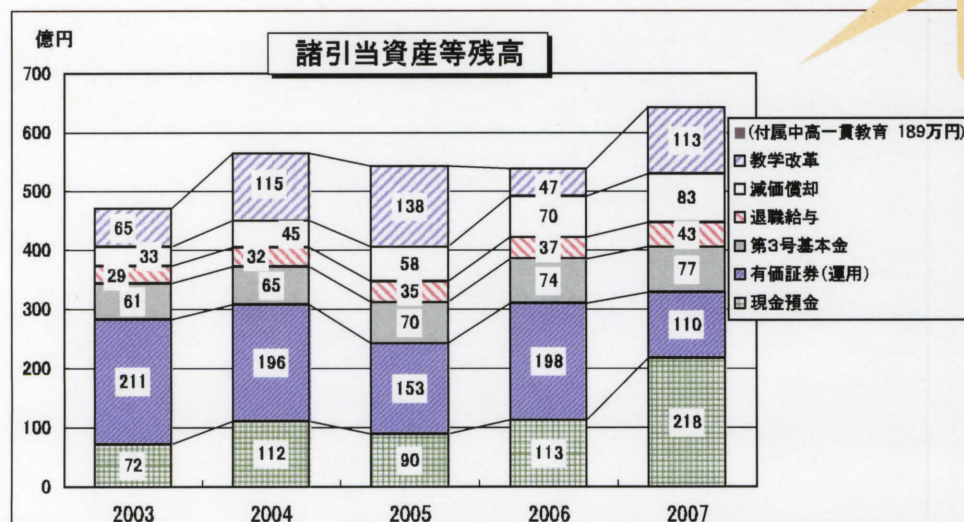
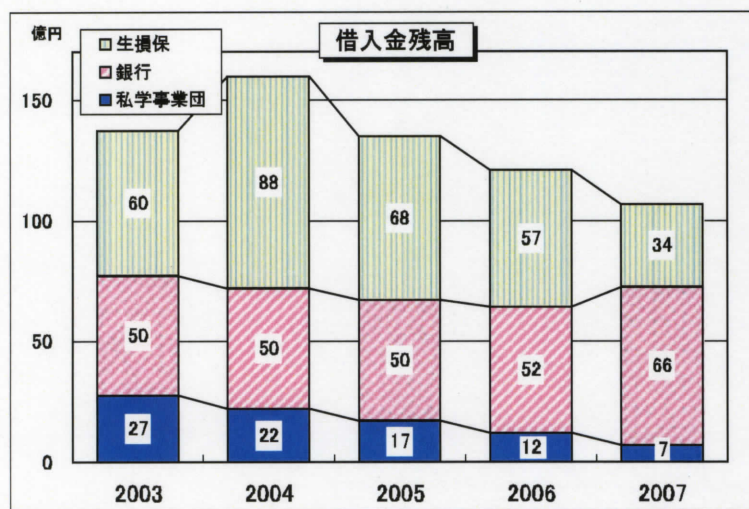
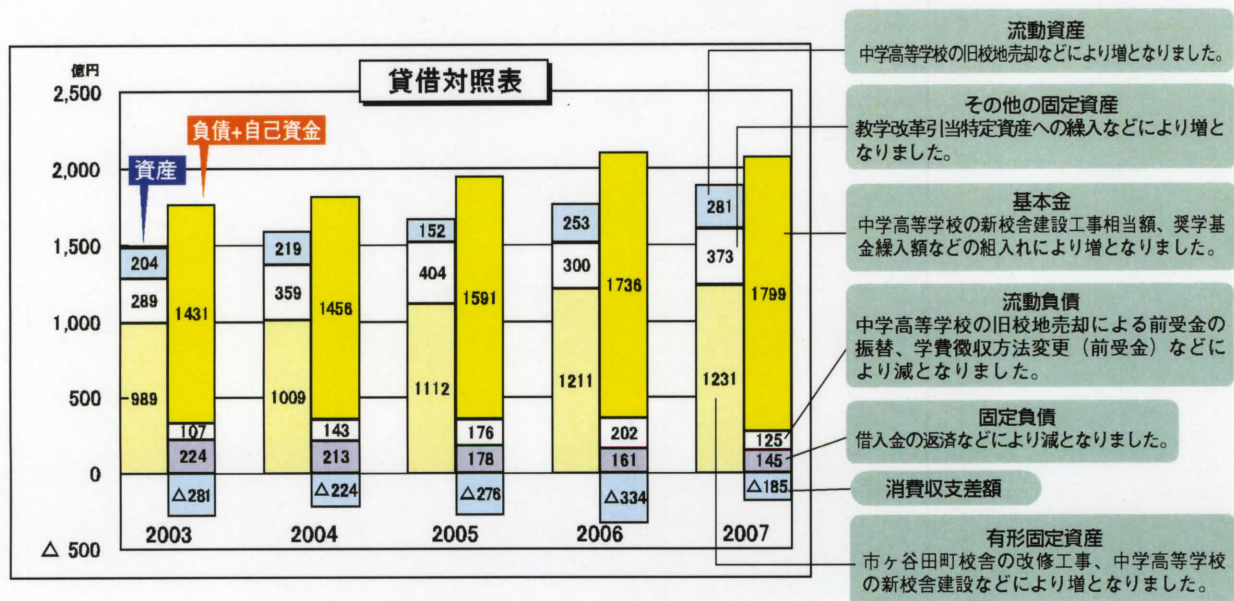
大学部の2007年度新入生数の増、志願者数の増および中学高等学校の旧校地売却などにより帰属収支差額は大幅に改善しました。

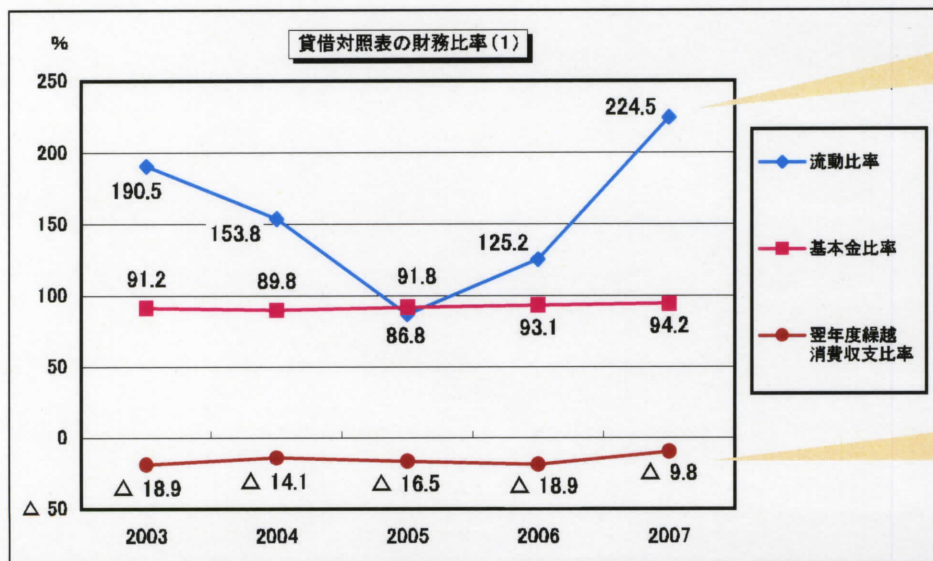


各比率は中学高等学校の旧校地売却などにより低下しました。さらに、大学部の2007年度新入生数の増、志願者数の増の影響により帰属収支差額比率は34.8%となり、本学が目標としている10%を大幅に上回りました。
(2007年度特有の土地売却差額を除いた帰属収支差額比率は17.2%)

(注) 比率は、各々の帰属収入に対する割合を示している

■ 貸借対照表の推移

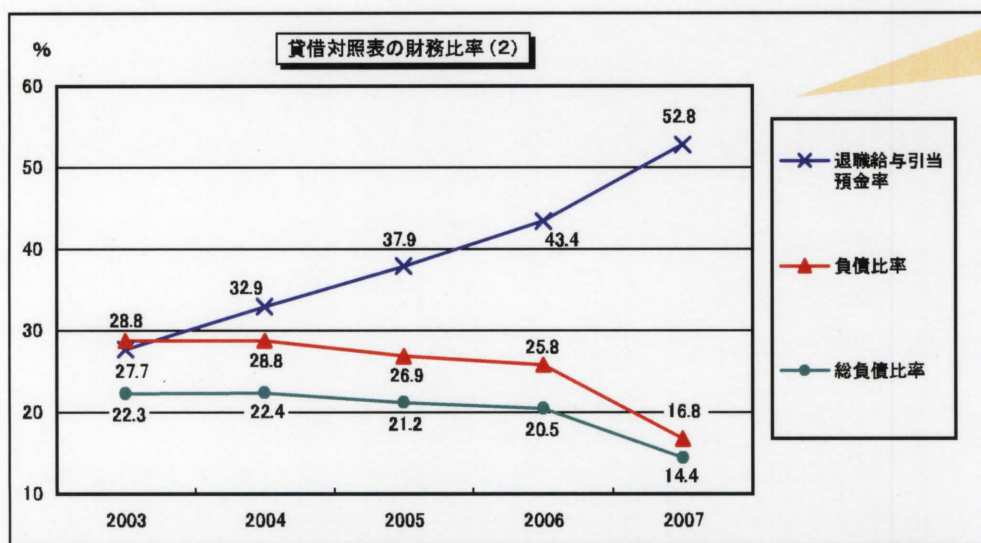




中学高等学校の旧校地売却などにより流動比率は増加しました。

大学部の2007年度新入生数の増、志願者数の増および中学高等学校の旧校地売却などにより帰属収入が増加し、翌年度繰越消費収支比率は改善しました。

(注) 流動比率：短期的な負債の償還に対する流動資産の割合で、支払能力を示す指標
 基本金比率：100%に近いほど基本金の未組入額が少ないことを示す
 翌年度繰越消費収支比率：翌年度繰越消費収支差額の総資金に占める割合



退職給与引当預金率は改善傾向にあります。負債比率、総負債比率も中学高等学校の旧校地売却などにより2007年度は改善傾向にあります。

(注) 退職給与引当預金率：退職給与引当金に見合う資産を、どの程度保有しているかを示す指標
 本学の退職給与引当金の計上額の目標は、退職金要支給額の50%としている
 負債比率：他人資金が自己資金を上回っていないかを示す指標
 総負債比率：負債総額の総資産に対する割合で、50%を超えると負債が自己資金を超過していることを示す